

石川県において放鳥したトキの生息状況概要（放鳥後～7月初旬）

放鳥日 5月31日（ハード）・6月14日（ソフト）

GPS機器による生息状況把握

はじめに

- 石川県羽咋市において、5月31日に8羽のトキをハードリリース方式、6月14日に10羽をソフトリリース方式で放鳥した。
- 周辺を海で囲まれた佐渡島とは異なり、陸続きである本州では、放鳥されたトキの分布が広域にわたる可能性も考えられたことから、その動向をよりしっかり把握するために、人による目視に加えて、放鳥したトキ全羽に足環型の追跡機器（GPS機器）を装着している。

放鳥後～7月初旬までの、GPSデータにより把握されたトキ生息状況の概要

- 5月末に放鳥した8羽（全てオス）のうち1羽はそのまま氷見市に飛来。それ以外の個体は、羽咋市や宝達志水町などに滞在後、一部が七尾市やかほく市、富山県に分散していった。
- 6月中旬に放鳥した10羽（オス2羽、メス8羽）は、主に中能登地域に滞在したのち、一部が南方へ移動した。
- 当初はそれぞれが単独で行動していたが、6月下旬にはかほく市に滞在していた2羽（オスとメス）が行動を共にするようになった。7月初旬からは羽咋市に滞在している3羽のうち2羽のメスが同一のねぐらや水田を利用しており、常に行動を共にしているようである。

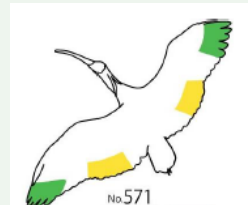
放鳥後の重点モニタリングの結果

- 6月14日から10日間にわたり重点モニタリングを実施し、その期間中に、下に記載したNo.571以外の個体全羽について目視にて生存を確認できた。多くの個体について採餌行動も確認できている。また、個体によっては、しばしばサギ類と一緒に行動している様子が見られた（右写真）。



「位置情報不明」の個体について

- 機器の電圧低下等によりデータが取得できていない場合、HPではその日の位置情報は「不明」として表示しているが、1羽を除き全ての個体については、7月初旬まで不定期にでも位置情報が更新されている。
- なお上記の「不明」が継続している1羽（No.571）についても、目視記録がなく6月7日の羽咋市内山間部での測位を最後に位置情報の更新が途絶えているものの、環境データ（温度等）が7月に入ってから新たに送られてきているため、まだ生存していると思われる。
- よって、現時点で、死亡が確認された個体の情報がないこと、また、機器から送信されたデータから、放鳥されたトキは全羽生存していると推察される。位置情報が更新されないNo.571（右図）を発見した場合は、ぜひ情報を寄せていただきたい。



カラーマーカー



足環の配色

放鳥後～6月末までの位置情報（市町村単位）

令和8年5月31日放鳥（ハードリリース個体8羽＜全てオス＞）

	位置情報
5/31時点	羽咋市4羽、中能登町2羽、氷見市1羽、不明1羽
6/1時点	羽咋市2羽、宝達志水町3羽、氷見市1羽、不明2羽
6/2時点	羽咋市1羽、宝達志水町2羽、かほく市1羽、氷見市1羽、不明3羽
6/3時点	羽咋市1羽、宝達志水町1羽、かほく市2羽、氷見市1羽、不明3羽
6/7時点	羽咋市1羽、宝達志水町1羽、七尾市1羽、津幡町1羽、かほく市1羽、高岡市2羽、不明1羽
6/10時点	宝達志水町1羽、七尾市1羽、津幡町2羽、小矢部市1羽、不明3羽
6/14時点	宝達志水町1羽、七尾市1羽、津幡町1羽、かほく市1羽、高岡市1羽、小矢部市1羽、不明2羽
6/17時点	宝達志水町1羽、七尾市1羽、津幡町1羽、かほく市1羽、高岡市1羽、小矢部市1羽、不明2羽
6/21時点	宝達志水町1羽、七尾市1羽、かほく市1羽、白山市1羽、高岡市1羽、不明3羽
6/24時点	宝達志水町1羽、七尾市1羽、かほく市1羽、白山市1羽、氷見市2羽、高岡市1羽、不明1羽
6/28時点	宝達志水町1羽、中能登町1羽、白山市1羽、氷見市3羽、高岡市1羽、不明1羽

令和8年6月14日放鳥（ソフトリリース個体10羽＜オス2羽、メス8羽＞）

	位置情報
6/14時点	羽咋市5羽 ^{※1} 、中能登町3羽、宝達志水町1羽、かほく市1羽 ※1 うち1羽は放鳥後の位置データが送信されなかったため、仮設ケージ内の時間等のデータ
6/17時点	羽咋市2羽、中能登町1羽、志賀町2羽、七尾市1羽、津幡町1羽、かほく市2羽、不明1羽
6/21時点	羽咋市3羽、中能登町1羽、志賀町1羽、七尾市1羽、津幡町1羽、かほく市2羽、氷見市1羽
6/24時点	羽咋市3羽、志賀町1羽、七尾市1羽、津幡町1羽、かほく市2羽、氷見市1羽、不明1羽
6/28時点	羽咋市3羽、中能登町1羽、志賀町1羽、七尾市1羽、津幡町1羽、かほく市2羽、氷見市1羽

